

同志社大学商学部



父母会報



No.80
November 2025

D O S H I S H A U N I V E R S I T Y

Contents

No.80

November 2025

「私の名前を取り戻す場所」 2

父母会副会長 山村 幸代

父母会ニュース 3

2025年度 各支部父母懇談会報告

父母のための就職セミナー報告

学部より 5

ゼミ紹介

商学部のグローバル科目「海外ビジネスⅡ」～2025年度報告～

新任紹介

キャンパスカレンダー 11

成績通知書の見方 12

就職状況 13

2024年度 商学部生 就職関係データ

支部だより 17

同志社大学商学部父母会会則 18

■表紙の写真

今出川校地のツリーは、西門を入れて北側に広がる、彰栄館・同志社礼拝堂・良心館に囲まれたサンクタスコートのヒマラヤスギが2014年からその役割を担い、京都の冬の風物詩として広く親しまれている今出川校地の点灯式に、歴史を刻んでいます。

ツリー点灯式（今出川校地）

日時：2025年11月20日（木）

17:15～（30分程度）

会場：西門北側サンクタスコート

ヒマラヤスギ周辺

※12月26日（金）までイルミネーションをお楽しみいただけます。



「私の名前を 取り戻す場所」

父母会副会長 山村 幸代



皆様こんにちは。2025年度副会長兼京都支部長の山村です。

さて突然ですが、この挨拶を聞いた時に皆さんはどのような人物を思い浮かべますか？

小学校の頃のPTA会長のような人？地元の町内会長さん？またそれは男性ですか、女性ですか？

その人物を思い描いたときに浮かぶイメージはなんとなくぼんやりとしたものではないでしょうか。

名前を聞いただけでは、それが自分とつながりのない相手であればなおさら、イメージができないのは当然だと思います。苗字だけならさらにそうなるでしょう。現代では婚姻関係を結ぶと同時に（もちろん喜びと共にですが）、多くの場合、夫婦のどちらかが使い慣れた苗字から新しい苗字を名乗ることとなります。そして日本の場合、女性がその選択をすることが多い傾向にあります。かくいう私自身、結婚と共に夫の苗字を名乗ることとなりました。

結婚し、子どもを授かり、妻であると同時に母にもなりました。ここで私は誰かの『ママ』になったのです。私の名前は『夫の苗字』と『（自分の子どもの）ママ』になりました。その状態は決して苦ではありませんでしたし喜びですらありました。自ら望んで得たものでもあるからです。

そんな私ですが、子育てに一段落したことを感じ、興味本位で父母会の役員をやってみようと思いつきました。

実は、子どもたちが小学生の時期にはPTA活動はあまり熱心ではなく、『子ども一人につき、一回役を引き受ける』という謎ルールにのっとって役を引き受けていただけでした。そんな私自身、子どもたちが小学生の時代に前向きに参加していたのは、学校の片隅で有志によって運営されていた『自然観察園』なるものの活動でした。そこは地域の皆さんが企画、管理、運営を行っている場所でした。皆で小さな田んぼで田植えをしたり、地域固有の野菜を育てたり、収穫した果実でシロップを作ったり、とても楽しい場所でした。

今書きながら思い返してみると、長女の大学受験が一段落し時間と心に余裕ができたことで、引越したことによって参加できなくなったその自然観察園の代わりの場所を求めているのかもしれませんが。そして長女の同志社大学入学時に、誰かに誘われたわけでもなく自ら父母会役員募集に申し込んでみたのです。

父母会ではお一人お一人が『父母会』とお互いのきずなをととても大切にされています。子どもや自身の年齢を超えて関係を築いていらっしゃる。ここでは『誰かの妻、夫』『誰かのママ、パパ』ではなく、自分が望む自分だけの名前と呼び合っています。誰にとってもどこかに居場所が必要です。私にとってそのひとつがここなのかもしれません。

商学部の父母会自体は子どもが卒業することによって自分も卒業する必要がありますが、ここでみつけた絆と取り戻した自分だけの名前はこれからも大切にしていきたいと切に願っています。

父母会ニュース

■2025年度 商学部父母懇談会開催のご報告

6月7日（土）の京都会場父母懇談会を皮切りに、全国6ヶ所で父母懇談会が開催されました。各支部の報告書に関しましては父母会ホームページにてご覧いただけます。

開催にあたりご協力いただきました皆様には、感謝とお礼を申し上げます。

6月 7日(土)	京都・大阪・兵庫・東中国・四国・北陸	同志社大学今出川キャンパス（京都）
6月21日(土)	東海	AP名古屋（名古屋）
6月22日(日)	北海道	ACU（札幌）
6月28日(土)	関東	同志社大学東京オフィス（東京）
6月29日(日)	東北	仙都会館（仙台）
7月12日(土)	西中国	広島ガーデンパレス（広島）
7月13日(日)	九州	JR博多シティ会議室（福岡）

2025年度 支部父母懇談会出席者数

	4年次生	3年次生	2年次生	1年次生	合計
	出席者数	出席者数	出席者数	出席者数	出席者数
京都	23	10	21	59	113
大阪	15	21	19	55	110
兵庫	17	9	10	38	74
東海	7	8	5	27	47
東中国	0	0	2	2	4
西中国	5	2	2	4	13
四国	0	1	2	6	9
九州	5	7	4	9	25
北陸	0	0	1	6	7
関東	3	11	6	16	36
北海道	4	2	1	5	12
東北	0	5	0	2	7
計	79	76	73	229	457

💬 ご出席いただいたご父母の感想

- とても有意義な時間であったという間でした。先生は怖くて硬い感じとと思っていましたが、とても親しみやすく話して頂き相談も親身に聞いてくださり助かりました。
- 今回は大変悩んだ末に初めて参加したのですが、会長のわかりやすく保護者の心に響くスピーチ内容や役員の皆様の笑顔やお声がけなどのお心遣いに変感激しました。また、同学年の同じ地域の保護者の方とネットワークが作れたのも本当に有り難い成果でした。周りの保護者の方々も『不安だったけど参加して本当に良かった』と皆さんおっしゃっていました。
- 内容が説明だけに終わらず、座談会やキャンパスツアーなど盛りだくさんで、楽しみながら参加させていただきました。
- これ程有意義と想像していませんでした。また参加したいと思います。
- 先生方からのお話や他の父母さん方のお話等、子どもからは得られない情報を得ることができ、貴重な時間となりました。他の父母さん方の意識の高さに焦ることもありましたが、子どもが毎日通い学んでいる場を親自身も体験することができたことで、親子の繋がりもより深まるような気がしました。また機会があれば積極的に参加したいと思います。

2025年度 父母のための就職セミナーご報告

父母会会長 梁 裕之



2025年8月30日(土) 同志社大学室町キャンパス寒梅館ハーディホールにて、「父母のための就職セミナー」が開催されました。

父母のための就職セミナーは、今年ゼロベースで内容を考え、リニューアルしました。

保護者の方に、激変した就職活動(以下、就活)のリアルを知っていただくことで、過干渉にならずに、子どもたちを支え見守れるようになることを目的として企画しました。

企画構成は以下の通りです。

- ①就活のプロから、現在最新の新卒大学生の就活を学ぶ。
- ②同志社大学のキャリアセンターから、学生の現状と大学独自の支援があることを学ぶ。
- ③直近の経験者(OBと現4年次)から、生の就活体験と保護者へのメッセージを聞く。

当日は約260名の方が参加されました。学年別参加割合は、1年25%、2年36%、3年32%、4年7%でした。1・2年次の保護者が全体の61%と、保護者の方の就活に対する関心の高さが伺えました。



●講話1

「最近の就活状況と保護者の支援について」

(株)キャンパスサポート 上江吉春さん(同志社大学のキャリア支援に22年関わってくれています)に、全国の学生の就活トレンドのお話を頂きました。早期化・インターンシップの在り方などいまの就活のトピックが満載でした。

●講話2

「同志社大学のキャリア支援と就職状況について」

同志社大学キャリアセンター キャリア支援課 近藤課長に、同志社の学生がどんな企業/団体に就職をし、学校がどんな支援を準備しているのかをお話いただきました。キャリアセンターを活用しないのは勿体ないと感じる内容でした。2年生を対象としたインターンシップの準備や、就活の面接の練習をしてくれていることなど。キャリアセンターのことを深く知ることが出来ました。

●体験談1

卒業生 近藤隼さんによる就活体験

今年3月に卒業し社会人として活躍するOBの方に過去の就職活動を振り返って、私たち保護者に伝えたいことをお話いただきました。自己分析をする際にセグメントして絞り込んだ図解を紹介いただきました。またやりたいことから、業種業界を絞り込まれていました。



●体験談2

4年次生 上田怜奈さん

内定をもらい就活を終えられた方に、実際どのように取り組んだかをお話いただきました。就活に成功しても就職に失敗するかも知れない不安があったこと。新卒採用はポテンシャル採用であると定義して準備をしたこと。入りたい会社のミッション/ビジョン/バリューに共感出来るかを考え、且つお題目でなく現場で実行されているかを社員に聞くなどをお話いただきました。



●体験談3

4年次 末富祐翔さん

入りたい業種や企業が決まっても希望する企業が指定する適性テストが悪いと入れません。適性テストセンター攻略を計画的に行ったこと。SPI、玉手箱、ESの点を早い段階で確保しておく重要性をお話いただきました。



体験談を語っていただいた3名の方からは、就活中に保護者に「してもらいたかったこと」や、「されて嬉しかったこと」も、ご共有いただきました。

終了後のアンケートには、たくさんの「参加して良かった」とのご感想をいただきました。就活は人生の一大イベントです。父母のための就職セミナーの学びが、ご家族なりの就活を考えるきっかけとなれば幸いです。

最後になりますが、今年の就職セミナーをご準備していただいた役員の方々、協力していただいた学校や先生方に、この場を借りて感謝いたします。

今後の父母のための就職セミナーは、下記の日時で地方開催しています。

- 10/4名古屋 @AP名古屋
- 10/19福岡 @JR博多シティ会議室
- 11/15東京 @同志社大学東京オフィス
- 12/6広島 @広島ガーデンパレス

詳しくは父母会HPをご覧ください

また、商学部父母会では2026年1月25日(日)に「一日大学」を、同志社大学寒梅館ハーディホールで開催いたします。申込案内は11月を予定しております。こちらも是非ご参加ください。

石田 大典 ゼミ (商業・金融学系)

ゼミ紹介



商学部商学科
4年次生
影山 瑞紀 さん

石田大典ゼミは、消費者行動を中心にマーケティングについて多面的に研究しているゼミです。本ゼミでは、その実態をより深く理解するために、理論や枠組みを学ぶと同時に、自ら課題を設定し、アンケートやインタビュー、実験などの調査を通じて実証的な研究に取り組んでいます。

2年次には、文献輪読を中心にマーケティングや消費者心理に関する基礎知識を身につけるとともに、消費者の意思決定に影響を与える心理的要因について議論を重ね、研究の土台を築きました。また、至誠杯(商学部の崔ゼミ、山内ゼミ、福本ゼミとの合同発表会)にも参加し、他ゼミとの交流や発表の機会を通じて、表現力や分析力を高めました。

3年次には、グループごとに問題意識を設定し、仮説の構築から実証研究まで一貫して行う研究に取り組んでいます。秋にはマーケティング学会にてポスター発表を行い、ベストポスター賞を受賞するなど、実践的な活動を通じて学びを深めています。さらに、学生商品開発コンテスト「Sカレ」にも挑戦し、社会のニーズを捉えた商品提案に取り組んでいます。

4年次には、ゼミの集大成としてグループに分かれて卒業制作に励んでいます。各グループがこれまでの経験を活かしながら、構想に構想を重ね、自ら設定したテーマに真剣に向き合っています。

研究活動以外にも、夏休みには早稲田大学の石井ゼミと合同合宿を実施し、意見交換や交流を通じて視野を広げています。石田ゼミは設立間もないゼミであり、私たちは1期生として「自分たちでゼミをつくる」という意識を持って活動しています。だからこそ、全員が一丸となってゼミの文化や歴史を築いていける点が大きな魅力です。石田ゼミでの主体的に学び、チームで成果を生み出す経験は、大学生活におけるかけがえのない財産になっています。



商学部商学科
石田 大典 准教授

石田ゼミでは、マーケティングや消費者行動に関して、「なぜ?」と思う現象を見つけ出し、理論を基に仮説を組み立て、データを収集して検証するという活動を行っています。それらを通じて、課題解決力や論理的思考能力を高めることを目標としています。

稲見 亨 ゼミ (簿記・会計学系)

ゼミ紹介



商学部商学科
3年次生
井海 響さん

私たち稲見ゼミは、21人の仲間とともに会計学を学んでいます。特に「国際会計」という分野が中心で、ゼミ生には実際に留学に行く人もいて、国際的な雰囲気があります。ゼミの研究としては、グループごとに分かれて会計に関する発表を行い、具体的な事例をもとに、国内外の会計制度、最新の実務や理論についての理解を深めます。また、公認会計士や税理士、グローバル企業で活躍しているゼミOB/OGによる訪問授業も行われます。実際に働いている先輩方から、仕事の内容や魅力、社会人生活の楽しみ方など貴重なお話を聞くことができ、自分たちの将来像がより明確に描けます。

ここまでではゼミの授業について話してきましたが、ここからは稲見ゼミならではの特徴や魅力についてお話ししたいと思います。稲見先生はよく「ファミリー」という言葉が使われます。理由としては、ゼミ生同士の関係はもちろん、先生と生徒との距離感も近く、とても親しみやすいからです。先生は、ボウリング大会やソフトボール大会などのイベントにも必ず参加され、全力で楽しみ、私たちとともに優勝を狙いにいきます。昨年度のソフトボール大会では惜しくも準優勝という結果でしたが、今年こそ2年ぶりの優勝を目指します！

私が稲見ゼミに所属してきて思うことは、「大学の講義が全部ゼミの時間だったらいいのになあ」、まさにこれです。単に授業がわかり易いとか、仲の良い友達しかいないからというのが理由ではありません。ゼミで勉強している時や、イベントなどで共に過ごしている時のゼミ全体の空気感が本当に好きだからです。このゼミでは、他では得がたい安心感があり、素の自分でいられます。まさに、「ファミリー」という言葉がピッタリな場所だと私は思います。

稲見ゼミは、皆さんの大学生活をさらに充実させることができる場所です。興味を持ってくれた方、稲見ゼミでお待ちしております!!



商学部商学科
稲見 亨 教授

毎年、快活で優秀な学生たちとの出会いがあり、とても有り難いです。会計士・税理士といった会計のプロを目指す学生も多く在籍しています。教室での授業はもちろんのこと、教室外での各種イベントでも大いに盛り上がり、学生の企画力や行動力、仲の良さにはいつも驚かされます。私にとってゼミはとても楽しい、大切な時間です。

エフゲーニ キセリョフ ゼミ (貿易・国際学系)

ゼミ紹介



商学部商学科
3年次生
下田 響子 さん

キセリョフゼミでは、国際ビジネスにおける異文化理解を中心に学びを進めています。国や地域ごとに異なる文化的背景や価値観を正しく理解し、それを実際のビジネスにどう応用していくかが大きなテーマです。前期は、異文化による課題や衝突の事例をもとに、グループごとに担当する国・企業について調査し発表を行いました。文化的な違いによって生じる誤解や対立をどのように克服し、効果的なコミュニケーションを築いていくのかを、多角的な視点から議論しました。

また、学びは座学にとどまらず、交渉ゲームやディベート、セールスレターの作成といった演習も取り入れています。理論を実践に移しながら取り組むことで、論理的思考力や言語表現力を高めるとともに、チームワークや相手の立場を踏まえた説得力のある表現方法など、実社会で求められるスキルを磨くことができます。後期には、輪読形式での90分間の発表が予定されており、専門的な研究を深く掘り下げると同時に、発信力や議論を整理し導く力の向上を目指します。

このゼミは開講初年度ということもあり、学生一人ひとりに大きな裁量が与えられています。個々の関心や目標に基づき主体的に取り組むことが求められる一方で、学生からの提案を積極的に取り入れる柔軟な運営スタイルがあり、自由度と学びの質が両立しているのも魅力です。仲間と意見を交わしながら挑戦を重ねる中で、自分では気づけなかった視点や考え方に出会えるのが、このゼミの一番の魅力です。こうした経験の積み重ねが、将来の進路や国際的な舞台で活躍するための確かな基盤になっていくと感じています。



商学部商学科
エフゲーニ キセリョフ 助教

キセリョフゼミでは、国際ビジネスの現場で求められるルールや慣行を専門とし、グローバルな視点から異文化理解を深める力を育てています。多様な背景を持つ学生とともに、貿易実務と結びついた実践的な学びを目指しています。

辻村 元男 ゼミ (経済・歴史学系)

ゼミ紹介



商学部商学科
4年次生
植田 将希 さん

辻村ゼミは、科学的な意思決定に有効なデータ分析を活用し、ファイナンスやスポーツなど、学生一人ひとりの興味・関心に基づいた分野の研究に取り組んでいます。変化の激しい複雑な社会において、選択肢を正しく評価し、合理的に判断を下すためには、誰もが理解できる明確な根拠を示し、論理的に説明する力が求められます。ゼミでは、各自の研究活動を通じて、データ分析の様々な手法を主体的に学んでいます。

私たちの学年では、2年次に基本的なデータ分析の一つである統計分析について学びました。グループに分かれ、課題図書各章を分担して発表し合い、互いに理解を深めました。3年次には、3～5名のグループに分かれ、「商品パッケージが消費者に与える影響」や「従業員満足度が業績に与える影響」など、各自の関心に基づいたテーマで研究を行いました。毎週のゼミでは、研究の進捗状況や分析内容について発表し合い、互いの理解を深める有意義な時間となりました。

4年次の現在は、個人または少人数のグループで、3年次と同様に興味のあるテーマについて、演習論文の完成を目標に研究を進めています。3年次のグループ研究やゼミでの発表を通じて得た経験を活かし、より深い内容に踏み込んだ研究に取り組んでいます。データ分析もより高度な手法に挑戦していますが、互いに助け合いながら進めています。

普段の研究活動に加えて、辻村ゼミでは合宿やソフトボール大会、食事会などゼミ生同士の交流を深めるためのイベントも多く行われています。各自が異なるテーマで研究を進める一方で、互いに助け合い、親睦を深めながら成長できる点が、辻村ゼミの大きな魅力だと感じています。



商学部商学科
辻村 元男 教授

辻村ゼミは、仕事やプライベートで迫られる様々な決断の助けとなるように、「科学的な意思決定が出来る思考を身につける」を目的としてゼミ活動を行っています。学生達には、光り輝く未来をどんどん切り拓いてほしいです。

担当教員より

商学部教授 内藤 徹

COVID19のパンデミックが明けた2023年に「海外ビジネスⅡ」の開講が再開され、今年で3年目になりました。2014年に開講され、今年で9回目となりました。商学部父母会および同志社大学校友会には多大なるご支援を賜りましたことまずは御礼申し上げます。

さて、「海外ビジネスⅡ」はこれまでのアメリカに加え、今年度から東南アジアも加わり学生たちにとっては魅力あるプログラムになっております。近年では、推薦入試の面接等でも、本プログラムがあるため商学部を志望したという受験生も散見されるようになりました。「海外ビジネスⅡ」は、ロサンゼルス現地視察が中心ではありますが、その視察の経験を実りあるものにするため、渡航前に2日、渡航後に1日が組み込まれております。受講生は、実際に訪れる訪問先や業界についてグループで調査し、発表することで視察をより意味のあるものにしていきます。

当初は手探りでやってきた本プログラムも、様々な経験の蓄積によって、充実したものになってきたと自負するところであります。ロサンゼルスで展開される様々な事業を自分の目で見ることで真の意味での視野を広げます。また、本プログラムはいわゆる「自由時間」なるものはあまりありませんが、個人旅行で決して体験することができない経験をすることで、わずか1週間の日程ですが参加学生の満足

度は非常に高く、大きく成長致します。

関西空港からロサンゼルスまでの機内での経験に始まり、ドジャースタジアムでの本場のベースボールの観戦、製造業やエンターテインメント業など複数の企業を視察することで日本以外の国で働くことを体感します。また、同志社大学校友会のご協力による本学のOB/OGによるキャリア・フォーラムでは実際にアメリカで働くOB/OGと膝を突き合わせて話をするという体験は何にも代えがたい経験となったはずで。さらにはカルフォルニア大学ロサンゼルス校を実際に訪問し、そこで活躍する研究者の話を聞き、学内を同世代の学生とコミュニケーションをとりながらの視察も貴重な経験になっています。

このような貴重な経験が可能となる本プログラムですが、昨今の円安、米国の物価高、航空運賃の高騰により、数年前よりも金銭的に受講のハードルが高くなっていることも事実です。しかしながら、引率教員として本プログラムがその金額に見合うものであると確信いたしております。もしお子様が海外に視野を向け、留学や海外勤務を考える機会として「海外ビジネスⅡ」の受講をご父母の皆様から勧め頂ければ幸いです。「海外ビジネスⅡ」の説明会は3月末の新学期直前とはなりますが、まずは説明会への参加を勧め頂きますようお願い申し上げます。



海外ビジネスⅡ参加学生感想文

商学部3年 白羽 佑果

現地では、アメリカのエンターテインメント産業を代表する大リーグ、ディズニーランドの視察を行ったほか、海外で活躍なさっている方々のお話を直接伺う機会をいただきました。

まず、各商業施設の視察では、大リーグで攻守交代の間に毎回行われるミニゲームコーナー、ディズニーランド内で起こる突発的なキャラクターパフォーマンスなど、観客を楽しませ続ける工夫が随所に施されていることを実感しました。日本との違いに驚かされるばかりではなく、なぜこのような違いがあるか皆で検討することも醍醐味のひとつでした。

次に、5日間でお話を伺う機会があった皆様からは、海外で働くことの面白さだけでなく、これから社会に出るにあたって大切にすべきことを数多くお教えいただきました。皆様のお話で共通していたのは、失敗を恐れず挑戦し続けること、調べた情報よりも自分の目や、耳や、足で実際に体験した経験が自身の強みになること、そして何よりも自分を1番大事にしてほしいことの3点であり、どのお言葉も強く印象に残っています。また、工場見学ツアーでは英語話者の方にご案内いただき、私からの質問にも分かりやすくお答えくださいました。

本講義が今後の進路に向き合うきっかけになったことは間違いありません。しかしそれだけでなく、授業以外で英語に触れる場面のない、いわば英語が机上の言語になっている学生にとって、それが世界の人々と交流できる生きた言語であることを実感する大変貴重な機会になったと確信しています。

最後に、内藤先生、牧先生をはじめ、本講義で私たちに関わってくださった全ての方々に、心から感謝申し上げます。

担当教員より

商学部教授 関 智宏

2014年度に商学部の実践科目として「海外ビジネスⅡ（アメリカ）」が設置されて以降、ロサンゼルスを拠点に10年にわたってグローバル人財の育成に努めてきました。これまで商学部父母会には、グローバル人財育成推進事業として、海外ビジネスⅡに多大なるご支援を頂戴してきましたこと、あらためて感謝申し上げます。

2025年度から、アメリカクラスに加えてタイクラスを新規に設置することになりました。タイと日本との関係は歴史的に長く、また製造業やサービス業を中心に大企業・中小企業問わず、多くの日系企業がタイに進出しています。タイの経済は着実に発展してきましたが、日本と同様に少子高齢化に直面したり、観光業依存型ゆえにコロナで大打撃を受けたりするなど、経済社会の課題を多く抱え、中進国の民を抜け出せないでいます。日系企業も苦戦を強いられていますが、それでも日系企業が生み出す製品やサービスの質は高く、日系企業がタイの経済社会の課題の解決に貢献することが期待されています。

タイクラスは、アメリカクラス同様に、事前講義が3日、事後講義が1日、現地実習が1週間のプログラムとなっています。現地実習では、タイの首都バンコクを拠点に、企業訪問や企業家との対話、またフィールドワークなどをつうじて、たんなる観光では学べない、現地のビジネスを直接的に見聞きし、体感することで、タイの経済社会の諸課題にビジネス

スの見地から、何らかの答えを導こうとします。

このたび企業訪問や企業家との対話に際し、多くの方々にご協力を賜りましたが、とくに同志社のOB・OG組織である泰国クローバー会の皆様には、多大なお力添えをいただき、交流会の場をセッティングしていただくなど、商学部生の学びにご支援を賜りました。また、個人的に大変親しくさせていただいている、タイ政府生産性本部代表のSuwanchaiさんには、現地の大学生との交流の機会も頂戴しました。このように、タイクラスのプログラムは、おそらくは日本国内でもほかに類のない、非常に充実したプログラムとなっています。

タイや東南アジアと聞くと、日本と比べて安価なイメージがあるかもしれませんが、タイの首都バンコクは賃金だけでなく物価も上昇し続け、東京と変わらない、あるいは円安も相まって、金銭感覚は東京以上かもしれません。このたびタイクラスを開講するにあたり、費用面で工夫を重ねましたが、どうしても一定以上の金額となってしまいます。2025年度は、40名を募集したところ、16名の参加となりましたが（2回生10名、3回生4名、4回生2名：男性4名、女性12名）、16名は充実した現地活動を経て、経験値を高めて帰国しています。ご父兄におかれましては、ご子息・ご息女さんにぜひとも実りあるタイクラスのプログラムにご参加いただき、タイ・バンコクの活力を肌で感じるために、背中を押していただきますようよろしくお願いいたします。



海外ビジネスⅡ参加学生感想文

商学部2年 若林 穂佳

2025年度から新規開講した「海外ビジネスⅡ-002」（タイ・バンコク）クラスでは、タイについての理解を深める事前講義、実際に海外へ赴き、学びを得る現地調査、そして調査に基づいたプレゼンテーションを行う事後講義によって、現地の経済社会の現状や企業や市場が抱える課題について体感しました。

現地で活躍される方々やタイの大学生との交流では、日本では感じられないような生き生きとした姿を目の当たりにすることができ、それらは自分自身も鼓舞されるような体験でした。特に「生きていくためには実行力・想像力・柔軟性が必要であり、未来は自らの手で創るものである」というお話は、将来について模索している私たちに強く印象づけるものでした。また、働きがいや仕事に対する基準は日本と海外とで大きく異なり、価値観の乖離が存在することを実感し、そのうえで、相互の考え方を尊重しながら要所を押さえ、ローカライズを進める重要性を学ぶことができました。5泊7日の現地調査は短期間ではありましたが、グローバルな環境で働きたいという思いをより一層強める、価値ある経験となりました。

そして、この研修を通じて、私たちを温かく迎え入れ、支えてくださった現地の方々の出会いはもちろん、このプログラムに参加したからこそめぐりあい、一緒に学び、共に過ごした仲間が存在も、私にとってかけがえのない財産です。これからもこのようなご縁や機会の豊かさを大切に、今後の学びや成長へとつなげていきたいと思っています。

最後になりますが、本プログラムの実施にご尽力くださった全ての皆様に、心より御礼申し上げます。

新任紹介

①研究テーマ ②自己紹介



かき ぬま ひで き
柿沼 英樹

①人的資源管理論、組織行動論②2025年度秋学期より同志社大学商学部に着任いたしました。研究では、良好な組織成果を引き出す人材マネジメントのあり方について、企業が展開する人事管理と、それを受け取る従業員が示す組織行動の両面から、理論的・実証的に検討しています。教育では、「経営組織論」や「経営学」を主に担当します。理論的な考え方と経営組織における実例をうまく織り交ぜながら、学ぶこと・考えることの面白さや難しさを体感できるような場を提供したいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



なかむら ふみあき
中村 文亮

①M&A、経営戦略②今年度より、同志社大学商学部に着任いたしました。私は、M&Aの戦略的活用やM&A後の組織統合に関する研究を行っております。近年、M&Aは企業の成長戦略だけでなく、事業承継の手段としても活用されることが増え、企業経営における重要性は一層高まっています。担当科目は「経営戦略論」と「経営学」です。講義を通じて、学生の皆さんが課題を発見する力、課題を解決する力、そして主体的に取り組む姿勢を養えるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

キャンパスカレンダー Campus Calendar

9月21日(日)

秋学期始め

9月24日(水)～9月30日(火)

秋学期オンデマンド授業期間

10月1日(水)

秋学期面接授業開始

11月1日(土)、11月2日(日)

同志社クローバー祭

11月26日(水)～11月28日(金)休講

創立記念行事週間

11月29日(土)休日

創立記念日

12月25日(木)休日

キリスト降誕日

12月24日(水)～1月6日(火)

冬期休暇

1月7日(水)

面接授業再開

1月19日(月)

面接授業最終日

1月20日(火)～2月9日(月)

秋学期期末試験

2月12日(木)～18日(水)

秋学期集中講義期間

3月13日(金)

秋学期成績通知

3月21日(土)15:00～

秋学期卒業式・学位授与式(商学部)

3月31日(火)

秋学期終り

成績通知書の見方

*成績通知書は、春（5月下旬）、秋（11月中旬）の年2回送付します。

*2023年度以降生については学生の同意書の提出が必要です。学生の同意なしにご父母に成績通知書をお送りすることは出来ません。

その他「学業履修について」など詳しい情報は、春に送付した「父母会報79号」に掲載しておりますのでご覧ください。

ご子女の成績についてのご相談は商学部事務室までお問い合わせください。

2013年度以降生

それぞれの科目を履修した年度

現在登録履修中の科目です。

合格評価で書き換えられた不合格評価であることを示します。

成績通知書の見方

履修年度	学期	科目名(クラス)	単位	成績	担当者名	履修年度	学期	科目名(クラス)	単位	成績	担当者名
		1～8類科目(80単位以上)						10類 外国語科目(16単位以上)			
		《 1類 導入科目(4単位以内) 》				2024	春学期	Core English (LS) - Intermediate 1	1	A	
2024	春学期	アカデミック・リテラシー I	2	A		2024	秋学期	Core English (LS) - Intermediate 2	1	B	
2024	秋学期	ビジネス・トピックス	2	B		2024	春学期	Core English (RW) - Intermediate 1	1	C	
						2024	秋学期	Core English (RW) - Intermediate 2	1	A	
						2024	春学期	General Academic English (LS)	1		
						2024	秋学期	General Academic English (RW)	1		
		《 2類 入門科目(6単位以上) 》				2024	春学期	General Academic English (RW) - Intermediate	2	A	
2024	春学期	基本統計学	2	A		2024	秋学期	ドイツ語入門 I	2	B	
2024	春学期	現代ビジネス	2	A		2024	春学期	ドイツ語応用1	1		
2024	春学期	簿記学 I	2	A		2024	秋学期	ドイツ語応用2	1		
2024	秋学期	簿記学 II	2	A		2024	春学期	ドイツ語応用3	1		
						2024	秋学期	ドイツ語応用4	1		
		《 3類 学系基礎科目 》						11類 自主選択科目(18単位以内)			
		＜ 学系基礎科目 I (8単位以上) ＞				2024	春学期	教育原理	2	F	
2024	秋学期	経済学	2	A		2024	秋学期	教育原理	2	B	
2024	秋学期	商業学	2	B				＜ 他学部科目 ＞			
2024	秋学期	国際経済学	2	D		****	春学期	京都メディアの発信戦略と地域貢献(省略)	2		
2024	秋学期	経営学	2	C							
2024	秋学期	会計学	2	F							
		＜ 学系基礎科目 II ＞									
		＜ 経済・歴史(2単位以上) ＞									
****	春学期	商業史	2								
****	秋学期	＜ 商業・金融(2単位以上) ＞									
		流通論	2								
****	春学期	＜ 貿易・国際(2単位以上) ＞									
		貿易業務論	2								
****	秋学期	＜ 企業・経営(2単位以上) ＞									
		経営管理論	2								
		＜ 簿記・会計(2単位以上) ＞									
		《 5類 実践科目 》									
2024	春学期	ファイナンス・プランナー基礎	2	中止							
		9類 教養科目(12単位以上)									
2024	春学期	建学の精神とキリスト教	2								
2024	春学期	日本史(1)	2								
2024	春学期	心理学1	2								
2024	秋学期	心理学2	2								

同志社大学 成績通知書

学部 商学部 商学科
(商学総合コース)
学籍番号 2024年度生(2年次)

氏名
生年月日 年(平成) 年 月 日生

学生ID: 1105-24-XXXX

学籍に関する事項

本人住所 〒 Tel.

父母氏名 〒 Tel.

父母住所 〒 Tel.

異動種別 異動年月日 異動事由

学入学 2024年4月1日

学籍異動

学業に関する事項

単位修得表

種別	卒業必要 単位数	修得数 科目/単位	種別	卒業必要 単位数	修得数 科目/単位
1～8類	80以上	9/20			
入門	6以上	4/8			
学系基礎 I	8以上	4/8			
学系基礎 II	10以上				
学系展開	20以上				
専門外国語	2以上				
9類	12以上	3/6			
10類	16以上	6/8	合計	126	19/36
11類科目	18以内	1/2	自由科目		
			免許・資格関係科目		

1～8類平均 20単位 2.91
直近学期GPA 2.77 累積GPA 3.31

見本

本人・父母の住所・氏名に誤り、変更があれば、商学部事務室に届け出てください

試験を受験していないことを示します。

1ヵ月程度授業を受講し、望ましい評価が得られないと判断して、履修を中止した科目です。

2024年度（2025年3月・2024年9月卒業・修了者）の就職活動の成果と支援状況

【1】2025年3月・2024年9月卒業・修了者の就職状況と採用の動向について

（1）就職状況の概要

ポイント：

- 2023年度に引き続き企業の採用意欲は堅調である一方で、採用充足の割合は低い状況にあり、企業にとって厳しい状況が続いている。
- Webの個別説明会が定着した一方、対面の面接や個別説明会增加。
- 内々定・内定出し開始時期がより一層早期化。一方で、採用予定人数を確保できなかったことから、夏以降も採用活動を継続する企業も多く、早期化と同時に長期化している。
- 多くの企業は昨年度と同様に、採用予定人数の確保よりも将来のコアとなる人材を確保しようとする厳選採用の姿勢を堅持している。

今春卒業生の就職活動は、前年と同様のスケジュールで、企業の採用活動のうち広報活動が「3年次生の3月」から、選考活動が「4年次生の6月」から開始されました。

2024年4月採用に引き続き、企業の採用意欲は堅調でした。その反面、採用充足は低い状況にあり、企業にとっては厳しい状況が続いています。多くの企業で個別企業説明会やセミナー、面接等の採用活動のオンラインでの実施が定着した一方で、対面での実施が増加し、対面に回帰している傾向が見られました。また、内々定・内定を出す時期がより一層早期化しました。内々定・内定出しのタイミングは早まっていますが、採用予定人数を確保できなかったことから、夏以降も採用活動を継続する企業も多く、早期化と同時に長期化しています。そして、多くの企業は昨年度と同様に、採用予定人数の確保よりも将来のコアとなる人材を確保しようとする厳選採用の姿勢を堅持しています。人口減少による労働力不足の中で、企業は採用基準を維持した上で採用予定人数を確保するために、従来の募集方法に加え、部門別採用、スカウト・オファー型採用、リファラル採用、インターンシップ等の利用、通年採用等、様々な手段を組み合わせしており、採用手法・形態が多様化しています。

本センターでは、このような企業の採用情報等を学生に迅速かつ正確に伝えとともに、企業説明会を多数実施する等、本学学生の就職活動を支援するプログラムを展開しています。2024年度はコロナ禍以降オンラインのみで開催していた企業説明会を、対面形式でも開催したところ、オンラインに比して学生の参加が増加しました。

個別相談においては、対面相談だけでなく、WEBや電話での個別相談を実施し、学生一人ひとりに寄り添った支援に努めています。

（2）就職支援の方向性

学生にとって満足度の高い就職を実現できるように毎年「アクションプラン」を定め、就職支援を行っています。

就職における学生の満足度を高めるためには、学生の職業理解を確かなものにする必要があります。そのために本学では、企業・官公庁等の協力のもと仕事理解を深める「業界研究セミナー」「学内企業説明会」、卒業生・内定者から学生に体験談を伝えてもらう「内定者座談会」等を実施しています。特に、2月に開催した学内企業説明会では301社の企業に参加いただき、のべ約5,100名の学生が参加しました。

キャリアセンターでは、低年次の1、2年次生向けの支援も行っています。早い時期から企業、職業、仕事の実像を理解し、その上で自分の将来設計を描くことで、将来の仕事への目的意識を高めることができると考えているからです。例えば、正課科目「キャリア開発と学生生活」と連携し、社会で活躍する卒業生を招く「キャリア発見セミナー」や、1、2年次生を対象とした「キャリア体感プログラム」および3年次生を主な対象とした正課科目「キャリア形成とインターンシップ」等があります。

学生の職業選択においては、学生一人ひとりに対し、状況を考慮しながら、実情に即した正確な就職情報を伝え、各々が最適な進路を選択できるようにアドバイスする個人相談がますます重要になっています。そのため、企業等での経験豊かなキャリアアドバイザーを配置し、年間約13,000件の個人相談に対応しています。

以上

就職関係データ

2024年度（2025年4月採用）学部学科・研究科別就職状況一覧表

	就職希望者数			就職者数			就職率（％）			過年度	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	2023年度	2022年度
神学部	19	23	42	19	22	41	100.0	95.7	97.6	100.0	97.1
文学部	176	339	515	175	339	514	99.4	100.0	99.8	99.1	97.2
社会学部	143	206	349	142	206	348	99.3	100.0	99.7	99.1	97.5
法学部	358	282	640	357	282	639	99.7	100.0	99.8	99.8	99.4
経済学部	504	239	743	502	239	741	99.6	100.0	99.7	99.8	99.2
商学部	404	330	734	404	330	734	100.0	100.0	100.0	99.9	98.9
政策学部	170	191	361	170	191	361	100.0	100.0	100.0	99.7	99.2
文化情報学部	122	108	230	121	108	229	99.2	100.0	99.6	99.7	98.4
スポーツ健康科学部	124	58	182	121	58	179	97.6	100.0	98.4	98.8	100.0
心理学部	39	69	108	39	67	106	100.0	97.1	98.1	99.0	99.0
グローバル・コミュニケーション学部	49	87	136	49	87	136	100.0	100.0	100.0	98.6	98.3
グローバル地域文化学部	45	118	163	45	118	163	100.0	100.0	100.0	99.4	98.7
文科系学部合計	2,153	2,050	4,203	2,144	2,047	4,191	99.6	99.9	99.7	99.5	98.7
理工学部	197	51	248	196	51	247	99.5	100.0	99.6	99.6	99.6
生命医科学部	47	41	88	47	40	87	100.0	97.6	98.9	100.0	98.9
理工系学部合計	244	92	336	243	91	334	99.6	98.9	99.4	99.7	99.4
全学部合計	2,397	2,142	4,539	2,387	2,138	4,525	99.6	99.8	99.7	99.5	98.8
文科系大学院合計	83	80	163	82	79	161	98.8	98.8	98.8	97.7	96.3
理工系大学院合計	336	74	410	335	74	409	99.7	100.0	99.8	99.8	100.0
大学院計	419	154	573	417	153	570	99.5	99.4	99.5	99.0	99.0
総合計	2,816	2,296	5,112	2,804	2,291	5,095	99.6	99.8	99.7	99.5	98.8

2024年度（2024年9月、2025年3月卒業・修了生）進路状況

		全学部						全研究科					
		商学部		文科系学部計		商学研究科		文科系計					
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
就職		4,619	77.7	744	89.6	4,284	85.1	638	77.6	2	66.7	229	60.4
	就職(無期雇用労働者)	4,543	76.4	736	88.7	4,209	83.6	625	76.0	2	66.7	216	57.0
	就職(有期雇用労働者)	29	0.5	1	0.1	29	0.6	5	0.6	0	0.0	5	1.3
	自営・家業・起業	47	0.8	7	0.8	46	0.9	8	1.0	0	0.0	8	2.1
進学		835	14.0	16	1.9	290	5.8	55	6.7	0	0.0	34	9.0
	うち本学大学院進学	635	10.7	6	0.7	166	3.3	54	6.6	0	0.0	33	8.7
	うち他大学大学院進学	200	3.4	10	1.2	124	2.5	1	0.1	0	0.0	1	0.3
その他進学・留学		32	0.5	3	0.4	31	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
資格試験、卒業後に就職活動を行う（公務員・教員受験含む）		198	3.3	41	4.9	187	3.7	89	10.8	0	0.0	80	21.1
大学院等への進学準備		51	0.9	4	0.5	45	0.9	7	0.9	0	0.0	7	1.8
その他		117	2.0	12	1.4	111	2.2	18	2.2	0	0.0	16	4.2
内定無求職中		14	0.2	0	0.0	12	0.2	3	0.4	0	0.0	2	0.5
最終進路未報告		80	1.3	10	1.2	77	1.5	12	1.5	1	33.3	11	2.9
合計		5,946		830		5,037		822		3		379	

就職者数上位20社推移

文科学部・研究科

2024年度				
	就職先	合計	文科系男子	文科系女子
1	国家公務員（一般職）	56	22	34
2	ニトリ	33	12	21
3	京都銀行	31	11	20
4	NTTドコモ	30	11	19
5	日本生命保険相互会社	28	12	16
6	みずほフィナンシャルグループ	27	12	15
6	りそなグループ	27	21	6
8	京都中央信用金庫	26	12	14
9	東京海上日動火災保険	23	7	16
10	住友生命保険相互会社	22	13	9
10	ベিকাレント・コンサルティング	22	19	3
12	大和証券	20	13	7
12	レバレジーズ	20	7	13
14	日本電気	19	7	12
14	村田製作所	19	7	12
16	全日本空輸	18	3	15
17	株式会社NTTデータ	17	9	8
17	京都府	17	6	11
17	大和ハウス工業	17	13	4
17	みずほ証券	17	12	5

2023年度				
	就職先	合計	文科系男子	文科系女子
1	国家公務員（一般職）	49	24	25
2	京都銀行	37	16	21
3	ベিকাレント・コンサルティング	36	31	5
4	東京海上日動火災保険	34	9	25
5	みずほフィナンシャルグループ	31	19	12
6	ニトリ	29	12	17
7	りそなグループ	27	12	15
8	日本生命保険相互会社	26	13	13
9	三井住友信託銀行	24	11	13
10	三井住友銀行	23	9	14
10	村田製作所	23	6	17
12	アクセンチュア	22	15	7
13	レバレジーズ	20	10	10
14	日本航空	19	4	15
15	滋賀銀行	17	4	13
16	住友生命保険相互会社	16	4	12
17	キーエンス	15	13	2
17	裁判所職員（一般職・裁判所事務官）	15	4	11
17	日本電気	15	4	11
17	日本政策金融公庫	15	7	8
17	みずほ証券	15	12	3

商学部就職者数上位10社推移

2024年度		
順位	就職先	合計
1	日本生命保険相互会社	13
2	NTTドコモ	11
3	京都銀行	10
4	NTTデータ	7
5	三井住友信託銀行	6
5	ベিকাレント・コンサルティング	6
5	村田製作所	6
5	りそなグループ	6
9	京都中央信用金庫	5
9	東京海上日動火災保険	5
9	大和証券	5
9	マイナビ	5
9	みずほフィナンシャルグループ	5
9	三井住友海上火災保険	5
9	ユニクロ	5

2023年度		
順位	就職先	合計
1	東京海上日動火災保険	12
2	ベিকাレント・コンサルティング	11
3	国家公務員（一般職）	9
3	京都銀行	9
5	三井住友信託銀行	8
5	みずほフィナンシャルグループ	8
7	有限責任 あずさ監査法人	7
7	NTTドコモ	7
7	みずほ証券	7
7	三井住友銀行	7
7	りそなグループ	7

業種別就職状況

商学部・男子

	2024年度		2023年度	
メーカー	106名	28.0%	120名	28.0%
流通	47名	7.2%	31名	7.2%
金融	67名	20.3%	87名	20.3%
マスコミ・情報通信	54名	16.6%	71名	16.6%
教育・学習支援	3名	0.7%	3名	0.7%
サービス	73名	16.1%	69名	16.1%
公共・その他	54名	11.0%	47名	11.0%
合 計	404名		428名	

文科系学部・研究科男子

	2024年度		2023年度	
メーカー	623名	28.0%	546名	25.8%
流通	204名	9.2%	184名	8.7%
金融	352名	15.8%	343名	16.2%
マスコミ・情報通信	335名	15.0%	363名	17.1%
教育・学習支援	32名	1.4%	35名	1.7%
サービス	325名	14.6%	304名	14.4%
公共・その他	355名	15.9%	343名	16.2%
合 計	2,226名		2,118名	

商学部・女子

	2024年度		2023年度	
メーカー	84名	28.0%	92名	28.0%
流通	29名	12.5%	41名	12.5%
金融	67名	21.3%	70名	21.3%
マスコミ・情報通信	55名	12.8%	42名	12.8%
教育・学習支援	4名	0.6%	2名	0.6%
サービス	55名	10.9%	36名	10.9%
公共・その他	36名	14.0%	46名	14.0%
合 計	330名		329名	

文科系学部・研究科女子

	2024年度		2023年度	
メーカー	527名	24.8%	516名	26.0%
流通	242名	11.4%	217名	10.9%
金融	287名	13.5%	308名	15.5%
マスコミ・情報通信	305名	14.3%	251名	12.6%
教育・学習支援	43名	2.0%	47名	2.4%
サービス	333名	15.7%	307名	15.5%
公共・その他	389名	18.3%	339名	17.1%
合 計	2,126名		1,985名	

※率（％）は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

2024年度（2025年4月採用）規模別就職状況

	文科系学部・研究科			
	男子		女子	
	就職者数	%	就職者数	%
巨大企業	552	24.8	514	24.2
大企業A	756	34.0	703	33.1
大企業B	238	10.7	217	10.2
中 企 業	275	12.4	246	11.6
小 企 業	255	11.5	222	10.4
そ の 他	150	6.7	224	10.5
総 計	2,226		2,126	

	商学部・研究科			
	男子		女子	
	就職者数	%	就職者数	%
巨大企業	121	30.0	98	29.7
大企業A	146	36.1	108	32.7
大企業B	38	9.4	37	11.2
中 企 業	47	11.6	48	14.5
小 企 業	36	8.9	28	8.5
そ の 他	16	4.0	11	3.3
総 計	404		330	

※率（％）は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

注：巨大企業＝従業員5,000人以上 大企業A＝1,000人以上 大企業B＝500人以上 中企業＝100人以上 小企業＝100人未満

※各種学校、非営利団体、宗教法人、医療・保健、介護事業、公務員などの業種は全てその他に含まれます。

支部だより

父母会との出会い

京都支部

私と父母会との出会いは、息子が一回生の時に支部行事に参加したのが始まりです。コロナの影響で、1、2回生の保護者は少なかったのですが、先輩方が気さくに話しかけてくださったのと、ニックネームで呼び合う程の仲の良さに感動を覚え、この輪に入りたいと思い支部役員になりました。あれから数年経ち、今年度は父母会最後の年となりそうです。



坂下 恵理

父母会の活動を通し、貴重な情報を得られたり、父母の皆さんと悩み相談や色々な情報共有ができたりと、楽しい時間を過ごしています。何よりも息子との共通の話題も増え、とても感謝しております。

皆様もぜひ父母会にご参加されませんか。心よりお待ちしております。

京都⇄四国の距離を縮めてくれた父母会

四国支部

「お母さんどうしよう！」自宅を離れ大学生生活をスタートさせた娘から入るメッセージにちょっと心配になった一年時。父母懇談会に参加し様々な情報に触れ、離れて住む娘と具体的なイメージを共有して話すことができました。父母会や就職セミナーで伺ったお話のおかげで、二年ではゼミ選択、三年はインターンシップや就職活動とステップアップしていく娘の悩みに寄り添うことができたように思います。いつの間にか、良き友、良き師を得て自分の目標に向かって歩き始めた娘からは「どうしようメール」もなくなりました。この頃は父母会インスタグラムを見て、娘の残り少ない京都での大学生活に、四国から思いを馳せています。



林 恵美子

父母会は今しか参加できない貴重な機会！

東中国支部

長男が目標にしていた同志社大学に合格しすごく嬉しかった反面、家を出て一人暮らしする事への不安も正直ありました。

そんな中父母懇談会のお知らせが届き、息子にも会えるとも思い参加したのが父母会との出会いでした。



齋藤 美聡

まだ入学したばかりの頃だったので、単位の事や学生生活の事、留学の事などたくさんの情報を聞くことができ、息子が学ぼうとしていることなどが見えてきた気がしました。

そして、そういう情報を京都から遠い場所からお子さんを送り出している父母へ届けることを父母会がやっていること知り、これからいろいろ知りたいのと私のように不安を抱えて子どもを送り出している父母のみなさんに少しでも安心してもらいたいと思い、私も父母会に参加することにしました。

息子が在学している間しか経験できない！こんな貴重な機会はない！と思い、私も息子と一緒に日々父母会からの情報を受け取って、まるで学生に戻ったかのようにいろいろと経験させてもらっています。

ぜひ、父母会からの情報を受け取っていただき、いろんな行事に参加してみてくださいね！

大学で見つけた新しいつながり

西中国支部

大学に父母会があると知ったのは、入学式終了後の説明会に参加した時のことでした。

その時は「そういうコミュニティがあるんだなあ・・・。」と思った程度で、特に興味を持つことはありませんでした。

私が同志社大学 商学部父母会に参加させていただくことになったきっかけは、支部総会・懇談会に出席したことです。

これまで大学というものにかかわった経験がなく、息子の大学生活や履修、就職など様々な不安を抱えていたこともあり、情報交換と出会いの場を求めて支部総会・懇談会へ出席することにしました。

そこには気さくに話しかけてくださる父母の先輩方、同じような不安を抱える父母の方々がおられ、少しだけ気持ちが楽になったところで「父母会に参加してみませんか？」とお誘いをいただきました。

実際に参加してみると、色々な行事や懇親会などで楽しくおしゃべりができたり、父母さん同士の交流を深めることができたりと、自分も大学でサークル活動をしているような気持ちになります。

小学校のPTAのような負担はまったくなく、ゆるく楽しく父母会活動に取り組んでいますので、父母のみなさまにはぜひご参加いただき一緒に楽しみましょう！



立畠 英樹

誇りをいदैて

この度同志社大学父母会へ参加させていただき、はや12か月が経ちました。わたしは同志社大学の卒業ではありませんが、全国規模で6月に行う父母懇談会や各支部で定期的に開催する支部行事に携わる機会を得たことで、同志社愛が目覚めていることは自他ともに認めるところでもあります。神学部四回生と商学部二回生の娘、息子には、『私より同志社愛がキツイな！(笑)』と冗談交じりでいわれるところです。父母会の行事へ参加することは、いち早く情報を得る機会をいただけていることも、父母としては嬉しいところです。子どもたちは大学の情報はくれませんからね(笑)同志社父母会に同じく参加される父母の方々の、『誇り』にふれ、いろいろと情報交換できることも、父母会に参加する魅力と感じています。

これをお読みになられた父母のみなさま、父母会でお会いできるのを楽しみにしております。

兵庫支部



澤井 洸喬

同志社大学商学部父母会会則

第1章 総 則

(名称及び所在地)

第1条 本会は、同志社大学商学部父母会と称し、事務所を同志社大学商学部事務室内（京都市上京区今出川通烏丸東入）に置く。

(目的)

第2条 本会は、同志社大学商学部（以下「商学部」という。）学生の保護者の連携と親睦を図ると共に、商学部の制度及び教育内容の理解を深め、教育事業を後援し、更には同志社大学の充実発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 会員相互間の理解啓発向上と親睦のため必要な活動
- (2) 大学制度と教育内容を理解するための会議、学習会、講演会等の開催
- (3) 教育研究上の環境整備のために必要な協力
- (4) 会報の発行その他会員に対する広報
- (5) 就職活動についての後援
- (6) 同志社連合父母会への連携協力
- (7) その他この会の目的達成のために必要な事業

第2章 会 員

(会員)

第4条 本会の会員は、商学部在籍する全ての学生の父母又はこれに代わる者とする。

(会費)

第5条 会員の会費は、学生1人につき、学期ごとに2,500円とする。ただし、学生が休学する場合は、会費を免除する。
2 会員は、毎学期の始めに会費を納入するものとする。
3 会費の徴収は、同志社大学に委託して行う。

第3章 役 員

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- | | |
|-----|-------|
| 会長 | 1名 |
| 副会長 | 4名以内 |
| 理事 | 15名以内 |
| 会計 | 1名 |
| 監事 | 2名 |

2 職務分掌については、別途、定める。

(役員の選任方法と任期および解任)

第7条 会長は、原則として前年度役員の互選により候補者を選出する。
2 副会長は、会員の中から会長が指名し、理事及び会計並びに監事は、選出された会長と指名された副会長の協議により選出する。すべての役員は総会の承認を得るものとする。但し、会計は、兼任を妨げない。
3 前条の役員のうち会計に関しては、第18条に定める父母会雇用の事務係に委任できるものとする。その場合委嘱の範囲及び費用を文書で取り交わすものとする。
4 役員の任期は1ヶ年とする。ただし、再任を妨げない。補欠又は増員の場合に選任された役員の任期は、前任者又は同種役員の残留任期とする。
5 同条第1項及び第2項の選出は前年度末までに行い、新年度から総会までの間、選出された候補者が会務を代行することができる。
6 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、役員会において解任することができる。
(1) 心身故障のため、職務の執行に耐えられないと認められるとき
(2) 役員会を混乱させたり、父母会の運営に支障となるなど、社会通念上、適切でない行為があると認められるとき

(相談役)

第8条 本会に相談役を置く。

2 相談役は、前会長とし、会長が委嘱する。
3 相談役は、会議に出席して意見を述べることができる。

(顧問)

第9条 本会に顧問を置く。

2 顧問は、商学部長とし、会長が委嘱する。
3 顧問は、会議に出席して意見を述べることができる。

(参与)

第10条 本会に参与を置く。

2 参与は、次の各号に掲げる者に会長が委嘱する。
(1) 商学部教員で商学部長が推薦する者
(2) 商学部事務長
3 参与は、会議に出席して意見を述べることができる。

第4章 会 議

(会議)

第11条 会議は、総会及び役員会とする。
但し、委員会を設置することができる。

(総会)

第12条 総会は、毎年1回4月に定時総会を開催する外、必要に応じ臨時総会を開催する。
2 総会は、役員及び支部長をもって構成（以下構成メンバーを「総会委員」という）する。
3 総会は、会長が招集し、議長となる。
4 総会は、役員及び支部長の過半数の出席により成立する。
5 総会においては、次の議事を議決する。
(1) 基本的事業計画に関する事項
(2) 収支予算の決定及び決算の承認
(3) 会則の改正
(4) 会長以下役員の承認
(5) その他会長が特に重要と認める事項
6 議事は、出席者の過半数をもって議決し、可否同数となるときは議長が決定する。但し、委任を認める。受任者は、出席員のみとする。白紙委任の場合は、議長に委任したものとみなす。

(役員会)

第13条 役員会は、原則3か月ごとに開催するほか、必要に応じて開催し、本会運営に必要な事項を協議し執行する。緊急を要する場合は総会に代わり役員会で審議、決定することができる。但し、次回総会において議案として提出しなければならない。
2 役員会は、役員をもって構成する。
3 役員会は、会長が招集し、議長となる。
4 役員会は、役員の過半数の出席により成立する。但し、委任を認める。受任者は、出席員のみとする。白紙委任の場合は、議長に委任したものとみなす。
5 役員会においては、次の事項について審議・報告・執行する。
(1) 総会への提出議案の作成
(2) 次年度会長候補者の選出
(3) 予算の立案と執行状況の報告と執行の承認
(4) 父母会本会主催行事に関する事項
(5) 役員の解任に関する事項
(6) その他会長が必要と認める事項
6 前項の審議事項は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数となるときは議長が決

定する。ただし、(5)役員の解任に関する事項に関しては、解任対象者を除く出席者の3分の2以上の賛成をもって決定する。また、後任役員を選出する場合は、7条4項のたとおり補欠選任として取り扱うものとする。
7 役員会は、本会運営の中心となって活動を掌るものとする。
8 役員会で、別途委員会を設置することができる。

第5章 支 部

(支部の設置と運営)

第14条 本会の事業運営のため、各地に支部を置く。
2 支部は、京都、大阪、兵庫、東海、東中国、西中国、四国、九州、北陸、関東、北海道及び東北の12支部とし、会員は、別表第一の右欄に掲げる居住地に応じて、同表左欄に掲げる支部に属するものとする。
3 各支部において支部の事情により運営が困難な場合は、本会にて運営を代行する。
4 各支部に支部長、その他支部役員を置く。支部役員の選任については支部運営細則に定める。
5 その他他支部の運営に必要な事項は、支部会則に定める。
6 父母会活動での言動が第2条の父母会の目的や第3条の父母会の事業内容から著しく外れており、社会通念上、本会役員会として不適切であると認定された場合は、本会役員会の決議により本会役員職、支部長職および支部役員職を解任することができる。

第6章 会 計

(経費)

第15条 本会の経費は会費、寄付金、その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(学部監事)

第17条 本会の会計監査にあたり、第6条に定める監事（以下「役員監事」という。）に加え、学部監事1名を置く。
2 学部監事は、商学部長の推薦を受け、参与である商学部教員の中から会長が委嘱する。
3 学部監事は、役員監事とともに、本会の会計を監査する。
4 学部監事の任期は、役員監事の任期に準じる。

第7章 雑 則

(事務係)

第18条 本会の事務を処理するため、父母会雇用の事務係を置く。
2 事務係が行う事務の取扱いについては、本会運営細則および支部運営細則にて定める。

(教員父母協議会)

第19条 本会が行なう事業の充実を図るため、教員父母協議会を設け、本会と商学部とが事業内容について協議する。
2 教員父母協議会の組織、協議事項等については、別に定める。

(運営についての意見)

第20条 会員は、本会の運営に関し何時でも会長又は支部長に対し、意見を提出することができる。会員から意見があったときは、会長は役員会に、支部長は支部役員会に諮り適正な措置を講じるものとする。

(その他)

第21条 本会則に定めるものの外に本会の会務運営上必要な事項は、本会運営細則に定める。

附 則

1 本会則は1971年4月1日から施行する。
2 第5条の規定は、2011年度以後に入会した会員に適用し、2010年度以前に入会した会員については、なお従前の例による。
3 個人情報取扱いについては、同志社大学が定める規程を準用する。

(1973年4月21日一部改正)

(1974年4月20日一部改正)

(1975年4月19日一部改正)

(1980年7月20日一部改正)

(1991年10月1日一部改正)

(1997年4月19日一部改正)

(2010年4月17日一部改正)

(2011年4月16日一部改正)

(2015年4月18日一部改正)

(2017年11月25日一部改正)

(2021年4月17日一部改正)

(2022年11月23日一部改正)

(2023年11月11日一部改正)

別表第一（第14条関係）

支部名	居 住 地
京 都	滋賀県、京都府、奈良県
大 阪	大阪府、和歌山県
兵 庫	兵庫県
東 海	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
東中国	鳥取県、岡山県
西中国	鳥取県、広島県、山口県
四 国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九 州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
北 陸	富山県、石川県、福井県
関 東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県
北海道	
東 北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

職務分掌について

① 本会の最高意思決定機関は総会とする。
② 本会の執行機関は役員会とする。
③ 役員の職務
会長は、本会を代表し、会務を総理する。
副会長は 会長を補佐し、会長に事故あるときは、会長があらかじめ定めた順位により、その職務を代理する。
本会会計は、事務係と連携し、事務係が行う本会経費の入出金の確認を四半期ごとに行い、本会役員会にて報告する。
会長、副会長は、教員父母協議会に出席する。
④ 本会監事は、半期ごとに会計監査を行い、役員会に報告、及び定期総会に報告する。
⑤ 本会理事は、役員会及び総会に出席し、提出議案について採決する。また緊急動議提出権を有するものとする。

*** ホームページのお知らせ ***

https://com.doshisha.ac.jp/parents_association/

インターネット上に、ホームページを開いています。



〈父母会の新着情報〉

○父母懇談会

○父母のための一日大学

○父母のための就職セミナー

等

日時、会場、講師等、いずれも詳細が決まり次第、随時更新します。

所属支部からのご案内もご覧いただけます。

ぜひ、アクセスしてください。

商学部父母会のFacebook・Instagramができました。
是非、フォローをお願いします。



Facebook



Instagram

発行
編集・制作
連絡先

2025年11月

同志社大学商学部父母会

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

同志社大学商学部事務室内

月～金 9:00-17:00 (11:30-12:30除く)

TEL : 075-251-3660 FAX : 075-251-3068

e-mail : sho-fubo@mail.doshisha.ac.jp